

## 授 業 概 要

分 野	専門分野Ⅱ	科目名	成人看護学概論	担当講師	杉垣 ひとみ
実施年次	1年次	単位数	1単位	時間数	15時間
<p>科目設定のねらい</p> <p>現代を生きる大人の生活は時代と共に様変わりしているが、とりわけ現代の経済的・環境的变化は目まぐるしく、大人の健康問題も複雑性や多様性を増している。さらに、近年医療制度改革・医療システム変革が大きく進められている。大人の健康と生活の包括的な理解のためには、大人の生活や健康に関する最新の動向をキャッチし、時代を生きる大人の健康生活を多角的にとらえる視点を持つ必要がある。このような背景から、本科目では大人の生活と健康に関する基本的知識を基盤とし、大人の多様な健康状態や健康問題に対応するための看護アプローチの基本的考え方や方法を学ぶ。</p>					
時間	単元目標	主 題	内 容	指導方法	
2	1. ライフサイクルからみた成人期の特徴が理解できる	1) 対象の理解	(1) 成人とは、「大人」とは (2) 生涯発達と成人期 ① 生涯発達とは ② 発達段階・発達課題 (3) 成人期各発達段階別の身体的・精神的・社会的特徴 ① 青年期の特徴 ② 壮年期の特徴 ③ 中年期の特徴	講義 グループワーク	
3	2. 成人期にある対象が生活者として理解できる	1) 生活者としての理解 2) 社会的存在としての理解	(1) 労働と生活 (2) 家族からみた大人 (3) 人生をたどること (1) 発達課題と社会的存在としての役割遂行 ① 所属・役割達成欲求 ② 責任・ワークライフバランス ③ 性別役割行動	講義 グループワーク	
2	3. 成人期にある対象の健康問題の特徴が理解できる	1) 成人期に特有な健康問題の特徴 2) 健康をまもる社会システム	(1) 成人の健康の状況 ① 生と死の動向 ② 罹患・受療の状況 ③ 生活習慣と健康 ④ 職業と健康問題 ⑤ 生活ストレス (2) 定期健康診断 ー職場と地域の健診 各種相談システム	講義 グループワーク	
6	4. 成人期にある対象への看護アプローチの基本が理解できる	1) 成人への看護アプローチの基本	(1) 生活の中で健康行動の促進への援助 (2) 医療者と対象者との信頼関係 (3) 意思決定支援 (4) 家族支援 一 家族としての成長 (5) 看護実践における倫理的配慮 (6) チームアプローチと看護マネジ	講義	

1	5. 療養の場の移行に伴う看護の役割が理解できる	2) 健康段階からみた看護の目的と方法  3) 災害時の看護  1) 退院支援と継続看護	メント (1) 急激な健康状態の破綻から回復を促進する看護 (2) 慢性的な変化の再調整を促す看護 (3) 終末期を支える看護 (1) 身体障害をもつ対象者への看護 (2) 治療継続が必要な対象者への看護  (1) 障害を持ちながらの生活と社会的支援 (2) 退院支援	講義
1	試験			
テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学総論 成人看護学① 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 臨床看護総論 基礎看護学④ 医学書院 厚生指針増刊 国民衛生の動向 厚生労働統計協会 舟島なをみ他著 看護のための人間発達学 第5版 医学書院			
参考文献	ナーシンググラフィカ 看護の統合と実践③ 災害看護 メディカ出版 田畑・田中共編 哲学—看護と人間に向かう哲学 スーヴェル・ヒロカワ 山田泉著 いのちの恩返し 高文研 星野富弘著 愛、深き淵より 立風書房 柳田邦男著 明日に刻む闘い 文芸春秋			
評価方法	出席時間 筆記試験 レポート 授業の取り組み状況			